

長浜市道路整備アクションプログラム策定懇話会（第2回） 会議録

開催日時：令和7年11月27日（木）14：00～14：45

開催場所：長浜市役所 本庁5F 5-A会議室

出席委員：別紙のとおり

傍聴者：1名

- 議 事：1. 継続路線・関連事業路線及び評価対象路線
2. 評価指標及び判定基準の設定と配点
3. 評価結果
4. 計画期間における投資可能額の見込みと整備計画路線（案）
5. 長浜市道路整備アクションプログラム策定に係るスケジュール

事務局

開会

●あいさつ

久保田次長（都市建設部）

及川座長

事務局

●会議の公開について

議事について公開とする。

（傍聴者1名。取材なし）

事務局

●議事

資料について説明

1. 継続路線・関連事業路線及び評価対象路線
2. 評価指標及び判定基準の設定と配点
3. 評価結果
4. 計画期間における投資可能額見込みと整備計画路線（案）
5. 長浜市道路整備アクションプログラム策定に係るスケジュール

●質疑応答

委員

短期での投資可能額より、短期での整備計画路線の事業費合計の方が高いが、どう考えるか。

事務局

短期での投資可能額より事業費合計が上回っているが、計画の延伸や新たな資金調査、補助金の検討、国の補正予算の状況を見る等、工夫しながら、該当の7路線を着実に進めたいと考えている。

委員

短期の路線でも延伸、先延ばしの可能性があるか。

事務局

予算の状況によっては短期の路線も延伸を考える必要がある。今回短期に位置づけている前回のアクションプログラムから継続している路線も、延伸してこれから事業を行う形としている。今回追加した関連事業に伴う路線も、予算等を見据えながら延伸も含めて事業を進めていく。

委員	今後の投資可能額は毎年減少しているが、算出のもととしている財政計画の投資的経費は毎年減少しているわけではなく、どのように進めているか。トータルで平均したという考えでよいか。
事務局	財政計画の歳出計画にて、投資的経費の各年の数字を前年度と比較している。例えば令和6年と令和7年を比較して何%増加もしくは減少しているかを算出し、それを対象期間の各年度で1年ごとに出してすべての平均を取った結果、1年あたり1.2%の減少率となるため、この減少率を基準値からそれぞれ毎年かけていく形で算出した。トータルで平均と考えて問題はない。
委員	評価結果の優先度順位で上位だった路線以降は、投資可能額から判断して短期には入れられないという考えということか。
事務局	今後財政状況が厳しくなっていくと考えている中、まずはどうしても整備が必要な継続路線と関連事業路線について、短期に位置づけている。
委員	短期を5年としたときに、5年後に事業完了している保証はありそうか。
事務局	5年以内に完了したい路線、5年では難しい路線と様々であり、まずは着手したところを最優先に進めたい。
	閉会
事務局	・次回懇話会は1月下旬に開催し、計画素案に対する意見聴取を行う予定としている。
	●あいさつ
	廣西管理監（北部建設課）